

悲惨な交通事故の根絶を目指して

鹿児島県警察の交通機動隊は、安全で快適な交通社会の実現を目指し、白バイやパトカーの機動力を駆使した交通事故の防止活動を行っています。今回は、女性白バイ隊「さつまクィーンズ」など交通機動隊の活動について紹介します。

女性白バイ隊「さつまクィーンズ」とは

平成9年3月に、交通機動隊に初の女性白バイ隊員2人が配置され、同年12月から女性白バイ隊「さつまクィーンズ」として発足しました。

現在は、3人の女性白バイ隊員（1人は育児休業中）が配置され、男性隊員と同様に、白バイなどでパトロールや交通指導取締りに従事しています。

また、霧島市で行われる鹿児島県地区対抗女子駅伝などの各種駅伝やマラソンの先導、各自自治体などが開催する交通安全運動のイベントなどへも参加し、広報面においても活躍しています。

白バイ隊員になるには、警察官として普段から体力、気力の錬成に努め、交通部門の仕事を目指すことが必要です。

さらに、800cc、1300ccと大排気量の白バイを使用し、倒れた白バイを一人で起こす、白バイを前後に引き回し自在に操る、白バイに乗車して行う急制動や8の字走行、ナロー走行、パイロンスラロームなどの厳しい訓練を男性隊員と同じく受け、一人前の白バイ隊員となります。

女性白バイ隊「さつまクィーンズ」



交通機動隊の主な活動内容

白バイやパトカーなどの機動力を生かしたパトロールによる交通指導取締り活動

- ・飲酒運転や無免許運転など悪質・危険・迷惑性の高い違反などに重点を置いた取締り（平成26年中の検挙違反件数 13196件）
- ・県民の意見、要望などを踏まえた指導取締り

駅伝やマラソンなどの先導と整理

- ・県下一周駅伝や地区対抗女子駅伝などの駅伝競技や菜の花マラソンでの白バイ・パトカーによる先導と交通整理

イベントなどへの派遣と活動

- ・「ふれあい警察展」や「ふるさと交通安全フェア」などのイベントでの白バイによるデモンストレーション走行や車両展示など
- ・各自治体などが開催する交通安全イベント等における交通安全活動

災害訓練など

- ・毎年行われる桜島火山爆発総合防災訓練でのオフロード車による被害状況調査や被災者の救出活動訓練

今後も、交通事故に直結する悪質・危険・迷惑性の高い違反を強力に取締り、交通事故の防止に取り組むとともに、交通安全フェアやイベントを通じて県民の方々と積極的にふれあい、県民の皆さまに愛される交通機動隊を目指します。

【問い合わせ先】 鹿児島県警察本部交通部交通機動隊 ☎099(206)0110

「さつまクィーンズ」からのお願い

「さつまクィーンズ」をはじめ交通機動隊は、県民を交通事故から守り、安全で快適な交通社会を実現することを目標としています。

交通事故で亡くなる方のうち、65歳以上の高齢者の方が過半数を占めています。

歩行中に事故に遭う場合も多いので、通りなれている道だからと油断せず、近くに横断歩道がある場合は必ず横断歩道を渡るなど交通ルールを守り、夜間外出する際は夜光反射材を着用するようにお願いします。

また、運転手の方は運転に集中し、夜間にはライトを上向きにして歩行者を早く発見するようにしてください。

私たち白バイ隊員も、日夜交通指導取締りに励み、悲惨な交通事故の根絶を目指します。

SATSUMA QUEENS